

市報

とおがまち 12/10 December

編集／十日町市役所総務部総務課企画広報係(電話(代)7-3111番)・発行／毎月10日

□302号□



既設の窓に簡単に施工
外壁もいためるぞん
施工



雪との闘いに終りはない

克雪都市づくりへの新しい出発・
克雪フェア開催

子孫に受けつぐふるさとをつくるために 克雪都市を高らかに宣言



白川の三代議士をはじめ、田中県企画調整部長、全国雪害都市協議会代表、須藤県議など、内外の雪を真剣に考えている人達を迎え、あわせて、克雪都市宣言記念講演会に、特別豪雪地帯振興議員連盟事務局長の佐藤隆代議士がかけつけるなど、県、市の政策の中に、克雪、利雪対策がたしか

五日、六日の両日、市民体育館と市民会館で、初めての克雪フェアが開催されました。
この克雪フェアは、五六豪雪の生々しい体験の中から、九月議会で制定された「克雪都市への主張と方針の公表」（克雪都市宣言）と「十日町市雪処理に関する条例」の内容を市民の皆さんから理解していただきたいと開かれたもので、克雪都市宣言記念式典や、屋根雪処理や除雪、消雪方法、私のアイデアなど雪にたち向かう生活の知恵や工夫も、一同に展示されて、宿命とあきらめていた豪雪を克服し、市と市民が協力して、雪に負けない、いよいよの克雪都市づくりをしようではないかと誓いを新たにしました。

克雪フェアのメイン行事は、六日、市民会館で開催された「克雪都市宣言記念大会」です。
この大会の冒頭、諸里市長は「雪は壁のように厚く、重く、行く手を阻んでいる。しかし、この壁はどうしても十日町市民が乗り越えなければならぬ壁だ。子孫に受けつぐ魂のあかしとして、克雪都市であることを、内外に宣言し、自らの努力で、苦難を切り開いてゆく決意を新たにす」とあいさつし、来賓の国土庁、柴田啓次地方振興局長は「一定住構想というのは、場所貧乏をなくすることです。雪は災害であるという認識は政府の中にも高まっています。これからは、雪を敵視せず、重要な資源でもあるので克雪から利雪へと向って欲しい」と述べました。来賓には、高島、木島、



スノーモビルののってみる佐藤代議士

に組み込まれてゆくという確信もてる大会になりました。
記念大会では、克雪シンボルマークの制作者鈴木蘭さんやこの大会のために募集した書道・図画・作文の入選者の表彰や市民代表三人の克雪への決意表明が行なわれ（別掲）、最後に、さきもの女王・早川幸枝さんが克雪都市宣言文を読みあげて大会を終りました。

一方、体育館では雪処理に関する展示がズラリ。すでに開発されている屋根雪処理方法が模型やビデオを使って示されたほか、各種除雪機械、消雪器具がふるさとの郷土料理、私のアイデア発表コーナー、防災コーナー、住宅建築相談コーナーなども設けられて、市民会館の小・中学生による雪の図画、書道展や豪雪写真展などとあわせて、まさに克雪一色の二日間になりました。

克雪に政治の力を



加賀糸屋町 根津 佐太郎

自分の雪は自分で処理するといふ気構えがあっても人力には限界がある。それをカバーする

雪処理総合システムの開発



青年会事務所 三輪 満雄

青年会議所は、常に雪害克服運動の先頭をたつてきた。この度の克雪都市宣言と青年会議所

保安要員制度の なくなる日まで



塩之又 市 林 福市

保安要員制度が発足して六年、過疎と出稼きによって益々弱体となる山間避地で、祖先の土地

のは政治の力だ。今後、我々がしなければならぬのは、水資源の確保と流雪溝網を整備して、異通りに設置すること。豪雪地に對する諸税の軽減、建築時の健ペノ率の改定。道路幅員の検討などすべきことが沢山あります。国・県においても絶大な政治力をお願いします。

我々市民は、五六豪雪を克服した力を結集して、総力をあげて克雪都市づくりに参加します。の運動は同じ流れだ。道路の確保、無落雪屋根の開発などのハード面。雪は敵でなく融合するものだという意識改革のソフト面。姿は雪でも水であるという水資源としての利用。雪まつり、当間山スノーランドなどの観光面での活用など「雪処理総合システム開発」を行政と一体となつて行い、青年会議所として、市民団体の先頭になり、勇敢に提案し果敢に行動する決意です。

を守り、永久に生活して行くこととする住民にとってありがたい制度です。保安要員の業務の中で最大の障害は雪崩です。道路改良と除雪機械の整備とともに雪崩危険場所の解消をお願いします。やがて、保安要員制度が必要なくなり、安心して美しく雪の中の生活ができる日がくるまで、決して負けることなく、克雪都市づくりに協力することを誓います。

○水で雪を消すことです。地下水の枯渇の問題は循環方式などを考えたらどうですか。

○自分の頭の上を軽くすることだ。家庭がつぶれてしまったら終りだ。

○消費パイプで安く道路の雪をとかすことと、屋根に水をあげてとかすことです。

○ブルドーザーも入らない町内が市内にはいくつもあります。小型の除雪機械を町内で購入する場合は市の補助制度も設けたらどうでしょうか。

○雪おろしをなくすることで。そしたら道路の雪処理の問題も解決できます。

○三國の山を平らにして雪を降らさないことですよ。

○雪を敵としないで友として雪と融合することです。

○雪に克つ、負けたら逃げるしかない。

○雪に克つことは、雪と仲よくすることだ。

人が通れるようにする。屋根に雪が積ったらそれもとくす。

○第一条件は一つではない。まず生活道路の確保。次に一般市民が受けている害や経費を、国や県や市の行政の機関内で、バックアップできるように充実することだ。最後に、自然といつも關っているのではなく、共存するように考えることだ。

○屋根雪処理や住宅の改造、除雪機械など克雪に関するものすべてに国、県、市の低利融資

○雪おろし解放

○あなたは一生雪おろしをするつもりですか。もし、それがイヤなら、今からその準備をしてください。方向づけをキチンとして、三年先、五年先を考えたい対策が必要なのです。

○雪の無いところから嫁いできました。この雪は、春をまつ心があるから耐えられるのです。十日町に最初に来た頃には、一番最初に土の顔を見れる鉄道路路に行つて春の香りをかいでいました。

○雪に克つことは、雪と仲よくすることだ。

○家のまわりの雪をとかして

したので、今は三十分で終る。今、困っているのは、旧道に面しているの、道路の除雪がされないことです。

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

町にこれない。道路の確保が第一条件です。

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

せん。克雪とは、余裕の対策をどうしてつくるかということですよ。まず、時間の余裕。気象の子報をもっと正確にできれば、予定がキチンとたちます。次は、広さの余裕。屋根雪の処理空間、道路幅員など、雪国にあった余裕が必要ですよ。それと、物の強度の余裕が欲しいです。最後に、気持の余裕です。

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

るとケンカしていると聞く。流雪溝も良いだろうが、お互いがゆずりあう心が大切だ。それが実現できたら良い社会になる。

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

○雪おろし解放

克雪の第一条件を私はこう考える

「克雪フェア会場でインタビュー」

長岡市 栗山弘

○私は雪国の人間ではない。だから言えるのかも知れないが、雪は耐えるものではなく、挑戦するもの。もう認識をもっている。克雪は単なる企業の営利目的だけになってはいけない。一つの企業だけでやるのは限界があり、自治体を中心にして共同プロジェクトをつくり、企業同志が連携して雪処理の技術を開発する必要があるのでは。

○やはり流雪溝しかない。それと余裕をもつことだ。

○屋根雪処理。私のようにイザリ仕事をしているものにとつて、雪おろしは運動になり、健康づくりに思っていたが、五六豪雪は重労働だった。

○気持の問題だ。雪に負けな

○雪処理条例にうたっている市民のモラルの向上。日頃、仲の良い隣り同志が雪の季節にな

○雪おろし解放

克雪都市宣言記念

国画・書道・作文コンクール入選者

市では、克雪都市宣言を記念して、小中学生国画・書道・作文コンクールを実施しました。応募総数は国画の部、十七校八五五点。書道の部、二十二校千十六点。作文の部、五校六九点でした。その中から見事入選された人は、次の皆さんです。

中学生の部

- 特選：井川康子(南中)
金賞：服部久典(南中)
銀賞：長谷川隆行(下条中)
秋山聖午(南中)
銅賞：生越武(下条中)、樋口義広(南中)

小学生の部

- (一年)
特選：池田文夫(東小)
金賞：岡田真以子(中条小)
池田拓末(下条小)



- 銀賞：中町忠寿(下条小)、田村詩子(下条小)、小杉和之(下条小)、丸山廣之(東小)
銅賞：近藤智輝(下条小)、近藤陸(下条小)、山田直子(下条小)、山口稔(東小)、丸山由香利(馬場小)、山田貴幸(下条小)

(二年)

- 特選：鈴木等(馬場小)
金賞：外山義裕(東小)、小林登美子(西小)
銀賞：山田博道(下条小)、田村勇雄(下条小)、高野正志(馬場小)、金沢正史(馬場小)
銅賞：只瀬力也(西小)、小原晋司(下条小)、山口朋輝(馬場小)、富井英次(馬場小)
樋口京子(馬場小)、尾身孝幸(靉島小)

(三年)

- 特選：蔵品千尋(下条小)
金賞：真霜裕子(西小)、田村真弓(下条小)
銀賞：曾根和明(中条小)、宮沢尚人(水沢小)、茂野正光(川治小)、村山鈴子(下条小)
銅賞：小宮山正美(下条小)

(四年)

- 特選：村山明子(川治小)
金賞：樋熊佐知子(東小)、田村行伸(下条小)
銀賞：水落政彦(下条小)、山田雅志(下条小)、根津企樹(西小)、庭野安美(西小)
銅賞：木村祐子(下条小)、丸山ゆかり(下条小)、大淵学(西小)、小海由紀子(下条小)
小海美加(下条小)、渡辺典子(下条小)

(五年)

- 特選：古田島広美(下条小)
金賞：飯塚信男(東小)、伊藤美佳(川治小)
銀賞：小杉智子(中条小)、大島知奈美(飛一小)、樋口健二(東小)、徳永千穂(川治小)
銅賞：藤横博(川治小)、真霜秀和(川治小)、小泉学(下条小)、水落芳弘(川治小)、高橋正樹(川治小)、佐藤智子(川治小)

(六年)

- 特選：根津百合恵(十小)
金賞：阿部直木(十小)、佐藤あゆみ(川治小)
銀賞：高橋由香(東小)、高橋谷介(十小)、尾身俊幸(中条小)、庭野宏明(十小)
銅賞：真霜恵介(十小)、金井啓周(十小)、岩田直子(中条小)、西脇史朗(十小)、大熊聡(中条小)、蕪木則子(十小)

中学生の部

- 特選：草野靖子(南中)
金賞：上原由加(南中)、宮沢智子(水沢中)
銀賞：俵山明代(水沢中)、関谷里絵(南中)、松沢真弓(南中)、村山智美(南中)

(二年)

- 特選：中林弘子(十中)、保坂秀幸(水沢中)、保坂康子(水沢中)、岩田則子(中条中)、太田和美(中条中)、金沢成樹(中条中)
小学生の部

(四年)

- 特選：福崎直美(六箇小)
金賞：根津正恵(西小)、庭野知子(西小)
銀賞：柳晴美(六箇小)、島田君恵(靉島小)、小嶋司(西小)、松沢俊二(川治小)
銅賞：俵山真由美(六箇小)

(五年)

- 上原由美(川治小)、霜垣悟(六箇小)、金木千明(川治小)
庭野美津子(西小)、佐藤和美(川治小)

克雪都市宣言記念

国画・書道・作文コンクール入選者

- 特選：遠田里美(川治小)
金賞：小林裕子(川治小)、松沢雪枝(川治小)
銀賞：榎沢綾香(川治小)、霜垣陽子(六箇小)、徳永紀子(川治小)、水落文子(川治小)
銅賞：高橋則子(東小)、飯塚かおり(西小)、上村直子(水沢小)、徳永千穂(川治小)、水落芳弘(川治小)、樋口保(十小)

(二年)

- 特選：草野靖子(南中)
金賞：上原由加(南中)、宮沢智子(水沢中)
銀賞：俵山明代(水沢中)、関谷里絵(南中)、松沢真弓(南中)、村山智美(南中)

(六年)

- 特選：樋熊真智子(十中三年)
入選：越村由美(十中一年)
尾身美智代(吉田中一年)、藤本敦子(十中二年)、土屋京子(十中二年)、吉沢政敏(十中三年)、高橋健一(十中三年)
美和(南中二年)

(四年)

- 特選：樋熊真智子(十中三年)
入選：越村由美(十中一年)
尾身美智代(吉田中一年)、藤本敦子(十中二年)、土屋京子(十中二年)、吉沢政敏(十中三年)、高橋健一(十中三年)
美和(南中二年)

(五年)

- 上原由美(川治小)、霜垣悟(六箇小)、金木千明(川治小)
庭野美津子(西小)、佐藤和美(川治小)

特選 草野靖子 (南中2年)

屋根雪の自然落下にご注意を

屋根雪の自然落下式の建物が、止め金物を取付けてください。市内に大部普及していますが、一、これから新築の予定のある危険が伴うことがありますので、方は、建築士、建設業者の方と次のことに十分ご注意ください。よく相談して、道路や隣地に落下することのないように考慮して建築してください。雪がまとまって落ちることがないよう、道路上に自然落下させることには禁止されています。

市補助金のあり方を見直す!!

◆補助金等見直し委員会の答申から◆

十日町市では、昭和五十五年四月に、国に先んじて機構改革を行い、部制・庁議制の導入をはじめとして事務事業の合理化に取組んでいるところで、しかし当市の財政面では、歳入面で国庫補助金、地方交付税などの依存財源にたよるところが大きき、市債(市の借金)が予算の十一・八%を占め、この割合が年々高まるともに、歳出における公債費(借金の返済費)は予算の六・九%を占め、来年度以降も確実に借金返済のための財源は増えて行きます。

このようななか、十日町青年会議所が投じた補助金返上決議(本町二)

同委員会では、諮問を受けて五回の委員会を開催し、補助金等の全般的及び具体的事項について審議を重ねた結果、十一月二十一日、市長に対してつぎの内容の答申がなされました。



市長に答申内容を説明する見直し委員会委員

〈答申文〉(概要)
補助金の見直しは、行政改革の一部であり、行政経費節減の一端であり、今日の市政はまさに経営であり、限られた財源をいかに有効かつ適切に運用するかは、行政・企業

に共通する不可欠な課題です。低成長期においては、行政改革を継続し、経費増高に歯止めをかけながら、最少経費で最大の効果を期する必要があります。

■基本的な考え方

十日町市が交付している補助金等は、社会福祉の充実、産業及び教育文化の振興等を目的とする公共団体、行政協力団体の助成奨励的なもの等々がありますが、なかには長期固定化し、既得権化しているものも少なくありません。この際、予算編成にあたってはゼロベース基調に立って、適切な選択、判断を加える必要があります。

■具体的な事項

(イ)各種団体の運営費に対する慢性的で零細な財政援助は、原則として廃止、縮減の方向に進め、事業費補助に切替える必要があります。事業費補助は単年度補助とし、補助率は事業費の三分の一以内を基本に、特に必要が認められるものも二分の一を限度とすることが適当です。

(ロ)同一団体に数種の補助をしているものは、早期に内容等を明確にさせたうえで、必要があれば補助金の一部削減または統合一括交付等補助金の効果的運用を期する必要があります。

(ハ)複数の団体に対する目的類似の補助金は整理統合の必要があり、団体の発展的改組、統合についての検討が望まれます。

■制度的補助金のあり方

継続的な補助制度では、後年度にわたって市の財政負担が増加して、財政圧迫の要因となりがねません。そのため、受益者負担の適正化、時限性の確立、最高限度額の設立等の見直しを常に考える必要があります。

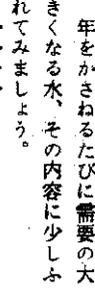
■融資制度への切り替え

新規または従来から補助制度として交付しているものでも、一時的に事業が多額の資金を必要とし、その内容が資本的形成をもつものは、その一定額を限度に貸付金等の代替手段を検討する必要があります。

市の対応は

市ではこの答申を受けて、庁内各補助金担当部、課と調整を行うとともに、昭和五十七年度予算編成にあたっては、可能な限り答申内容を実現するよう措置を講じていることになっています。

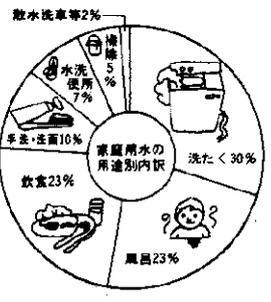
水の需要量(2)



時代を進歩は、生活水準の上、生活様式の変化をもたらし、私達の生活を豊かにすると共に、水利の形態に大きな変革を与え、その需要量を飛躍的に増大させました。洗たく機は、トイレの水洗化や冷房の普及等も需要増大の要素といえます。水需要の増加とあわせ、給水も手押しポンプからホームポンプへ、ホームポンプから上水道へと進み、現在、私達は、どこの家庭でも、蛇口を開けば、日本中、いや、世界中に自慢出来る素晴らしい水質と味の水が、豊かにほどこばり出て、ふんだんに使えているのがあたりまえのことになっています。

年をかさねるたびに需要の大きくなる水、その内容に少しふれてみましょう。

生活用水、飲用、炊事、洗たく、入浴など私達に最も身近で家庭用水として、また、学校、事務所、病院、デパートなどで都市活動を支えている水が、生活用水です。十日町では、昭和三十三年十二月、泉町、六十五戸への給水が、上水道の始まりであり、水道が普及する以前は、手押しポンプにより、井戸水を汲みあげ、バケツによる配水や給水が主体となっていました。洗たくは、タライと洗たく板により、家の附近を流れる小川は、雑用水として、私達の毎日の生活と切り離す事の出来ない水として利用される等、水利用が自然のサイクルに近い、節水型であった事は、年配の方々には、記憶に新しいところでしょう。



これからも、雪を克服し、雪国を、人がうらやむまらにするために、流雪用水や消雪用水が相当の量、必要となります。

また昭和五十八年には、下水道の機業が予定されており、道路の側溝や小川に、澄んだ水が常に流れ、小魚が遊泳しているまらちを、考えただけではがすがしくなります。

清潔で快適なまらちづくりのために、これからも生活用水の需要は大きくなるでしょう。

統計功労表彰

去る十一月十八日、第十二回新潟県統計大会が県民会館に統計関係者約千人を集めて盛大に開催されました。

その席上、市は次の表彰を受けました。

内閣総理大臣表彰

(住民基本台帳人口移動報告)

通商産業大臣表彰

(工業統計調査)

通商産業大臣表彰

関口英夫(本町四)

新潟県統計協会総裁表彰

草間金次郎(稲荷町三商)

岡村建治(北新田二)

また、次の事業所、個人の皆さんも統計功労で表彰を受けられました。

労働大臣表彰
滝文工業株式会社(本町一上)

国民年金保険料は所得から

社会保険料控除されます

ことし一年間に納めた国民年金の保険料は、サラリーマンの年末調整や自営業者の確定申告により、納めた額が所得額からそっくり控除されます。年末調整や確定申告の際には、忘れずに手続きしましょう。



■対象となる保険料は、五十六年一月から十二月までに納めた保険料で、次のとおりです。

- ①定額保険料……一月から三月までは、一月から三月まで、四月から十二月までは、一月から四月まで、一年間納めた場合五万一千八百円
- ②付加保険料納付の場合……

「羽根川荘」年末年始の休館

●12/27(日):大掃除 12/28(月)~1/4(月):休館



生命保険と税金

私たちは、毎日が健康で過ごせるよう願っていますが、いっどんな不幸に見舞われるか、誰にもわかりません。そこで多くの家庭では、万一に備えて生命保険に加入しています。

春日忠吉さんに

法務大臣表彰

市内榊沢の保護司・春日忠吉さん(七十一歳)は、このたび法務大臣表彰をうけられました。

春日さんは、現在、中魚沼保護区保護司会副会長・同日町分区長の職務にありますが、昭和二十七年以来、二十九年間もの長い期間、保護司をしてこれなれた功績についての表彰となったものです。郡市内で三人目の表彰者です。

虫歯のないよい子(11月分)

住所	氏名	保護者
田川町3	大熊安樹子	育夫
馬場第2	登坂洋美	敏彦
島	中川匡直	直
千歳町	福原宏美	勝
田川町1	村山奈保	光男
本町東1	田村信行	英二
谷内丑2	野上真吾	建治
妻有町西1~2	萩原毅彦	平世
高田町5	大島みどり	準
中条下町	樋熊美恵	悠
中条旭町	市原健	鉄次
尾崎	春日裕樹	政信
本町7-1	樋口晴美	孝夫
本町7-2	関川洋裕	文雄
味	岩田哲男	金吾
中条八幡	石沢貴司	徳二郎
中条島	橋本千香	博

いろいろな関係があります。納税者本人や家庭を受取人とする保険料を支払ったときは、その年の支払い額に応じて「生命保険料控除」としてその年の所得金額から控除されます。

また満期保険金を受取ったときは、保険料をだれが負担し、だれが保険金を受取っているかなどによって、相続税が贈与税あるいは所得税がかかります。

なお、傷害特約付生命保険で身体の傷害に基づいて受取った給付金には税金がかかりません。詳しくは、税務署・税務相談室へおたずねください。

十日町ロータリーアクトクラブが

チャリティバザールの益金を寄付

十日町ロータリーアクトクラブ(湯沢一久会長)では、十二月六日、本町二丁目田畑屋商店前で行った「歳末チャリティバザール」の益金十万六千六百六十六円を郡市内の障害者施設の拡充に役立するために寄付されました。



みんなで考えよう 国際障害者年

最終回

詩をつくるのが好きな人

大島栄三さんの詩集から

冬の夜

母さんが
野沢菜 洗う指先は
赤くひびわれ ああ痛い
ちよろちよろ もえるいろりばた
ふっくりふくれた あわもちほ
今が食べごろ 香ります

とんとん音の おじいさん
帯をときとき はらあぶり
おなかのひふは まっかつか
ことこと まな板の音が
しずかに聞える
冬の夜

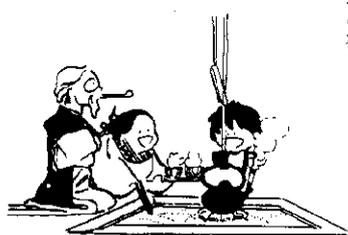
上の詩は、NHKにいがたの開局五十周年を記念して行われた「ふるさとにいがたの歌」コンテストで最優秀賞に選ばれた大島栄三さん(市内藤平出身)現在みなの里療養園に在園中の作品です。

大島さんは、みなの里(越路町)で、自治会の副会長、企画部長などをしたかわらで、自称、わらび平の天才詩人というほど文芸活動の好きな人で、全く障害など感じさせないほどの情感あふれた詩をつくっています。

十円玉

十円玉一個で電話をかけた
受話機の奥から
母の音が聞えた
元気でいるか
金はあるか
十円玉はくれた……
母の声も
された……

(新潟みずほ園文芸部
こすもすから)



年賀状のスタンプに
 "雪まつり"、"きもの"、
 "コシヒカリ"、"大太鼓"、
 をデザインしました

(十日町郵便局)
 (本町簡易郵便局) に設置してあります
 (十日町高田郵便局)



十日町市
 (雪まつり) 2月13-14日



3+9
 7のゆめ
 (雪まつり) 2月13-14日



1982
 大太鼓
 (雪まつり) 2月13-14日

※デザインは
 鈴木蘭さん
 (本町6丁目)
 によるものです

つまりの民話が
 「まんが日本昔ばなし」(BSNTV)で放映

BSNテレビ
 12月19日(土) 一五〇兵衛・六兵衛
 七兵衛(川治)
 1月16日(土) 「魚つり爺さん」と狐
 (仙田)
 時間は、夜七時〜七時半



忘年会や新年会などで料理店、飲食店、旅館及びバーなどを利用したときは、免税点以下の場合を除き、忘れずに公給領収証を受け取りましょう。領収証はつぎの場合に交付されます。

●飲食店(婦女の接待を伴わないもの) 一人一回の料金が二千元を超えたとき; 料金の10%

●料理店・バー及び飲食店(婦女の接待を伴うもの); 利用料金の全額に対して10%

●旅館・ホテル
 (1) 一人一泊二食の料金が四千元を超える場合は二千元を控除した残りの額の10%
 (2) 宿泊者の追加飲食、夜食、昼食など、また日帰り者の休憩及び飲食は、利用料金が二千元を超えたとき; 料金の10%

公給領収証は会計が明朗になり、税金上のトラブル防止に役立ちます。問い合わせは十日町財務事務所関係係(☎七五五一番)まで。

公給領収証を受けとりましょう

本の寄贈ありがとうございました (4月分)

- うすい香・越村まさみ・島田進・中沢友吉
- 羽鳥慎一・岡崎国太郎
- 近藤六郎・宮下英治
- 高木国保・柳沢ミツイ
- 古知ミチヨ
- 近藤康広
- 志賀富子
- 健康づくり振興財団
- 阿部晴子
- 高橋カツ
- 福崎孝一
- 児三キクイ
- 小泉東一
- 小泉ユリ
- 瀬木慎一
- 田中千秋
- 太田謙一郎
- 宮田規矩雄
- 阿部進
- 宮沢次夫
- 樋口春代
- 樋口庫太
- 岡元真弓
- 青柳二三子
- 大津洋子
- 蕪木保雄
- 藤田未作
- 松岡仁志
- 野上文字
- 樋口某美
- 小嶋そば
- 玉田辰治
- 尾身好子
- 八島智子
- 根津幸雄
- 富井清道
- 田川正雄
- 竹内邦雄
- 村山書店
- 関口正明
- 石坂新事
- 根津策次
- 内山吉晴
- 小島裕子
- 上村善教
- 根津真一
- 松村文子
- 高野統一郎
- 坂場洋治
- (敬称略)

昭和56年度 貸出文庫 配本所

- 入れ替えは2カ月に1回です。
- 冬季貸出は12月から開始します。

●通年貸出 (23カ所)

地区	部落	配本所
六箇	ニッ屋	俊山弘宅
飛渡	東枯木又	山田勇吉宅
	西桂木又	春川善七宅
	池谷	庭野昇一宅
	宇田ヶ沢	水落留吉宅
下条	願入	願入冬季分枝
	下条本町	下条保育所
水沢	姿	姿公民館
	伊達	伊達公会堂
	土市	水沢保育所
	珠川	珠田分校
	野中	野中小学校
十日町	西本町	西保育所
美佐島	赤倉	赤倉小学校
	江道	江道猿倉開発センター
	津池	津池冬季分枝
川治	川治上町	川治保育所
	錦町2	高山保育所
中条	市之沢	佐藤友三郎宅
	北原	北原保育所
	尾崎	むつみ台所
河庄	南登坂	登島保育所
	名ヶ山	小海勝誠宅

●冬季貸出 (17カ所)

地区	部落	配本所	世話人	電話番号
六箇	六箇山谷	柳義夫宅	(同左)	7-9310
	船坂	船坂冬季分枝		
飛渡	三ツ山	縮原分館		
下条	岩野	岩野クラブ	田村守	5-2619
	上新田	上新田分館	長谷川安蔵	6-2167
	澗野	生活改善センター	水落文平	6-2254
	水口	水口公民館	小原吉次	5-2664
水沢	大黒沢	宮沢正憲宅	(同左)	
	馬場	馬場小学校		8-2069
	新宮	村山千玄宅	(同左)	8-2735
十日町	高田町	十日町保健所		7-2400
川治	関根	湯川輪店		7-8794
	城ノ古	城ノ古公民館	高橋秀雄	
	北新田	樋口義一宅	(同左)	
吉田	高島	涌井哲司宅	(")	7-4914
	吉田山谷	藤巻功宅	(")	2-3047
	縮葉	丸山孝一宅	(")	7-1865

十日町市公民館図書室 (☎7-5011番)

「雪とつげよう」スピード・ブレーキ・冬の道」

冬の交通事故防止運動

今年十一月末現在の市内の交通事故発生状況は、発生件数八十一件、死者一人、負傷者九十七人で、昨年同期と比較して発生件数・死傷者ともに減少しています。事故原因が飲酒運転によるもの十一件(昨年五件)、スピード事故七件(同六件)、一時不停止等の事故十一件(同十一件)と、交通三悪によるものが増えています。これから年末年始を迎え、飲酒の機会が多くなること等から、これらの事故の増加が懸念されます。

このような状況のなかで、県、県警、十日町市では、昭和五十六年冬の交通事故防止運動につきにより積極的に展開します。期間 十二月十一日(金)～昭和五十七年一月十日(日)まで。重点運動の重点

(1)飲酒運転などの交通三悪の一掃

①広報車等による広報活動の推進 ②家庭、職域、地域での話し合い、決議を行い、酒類提供業者への飲酒運転追放の働きかけ

②スリップ事故の防止

①運転者に雪中安全走行の指導 ②道路環境の点検整備によるスリップ事故防止対策の推進 路上駐車等の排除指導 ③地域住民の協力による歩道除雪の促進

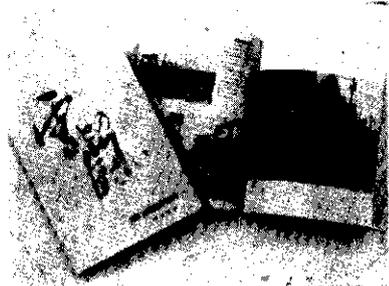
(3)踏切事故の防止

①踏切での一時停止、安全確認 踏切周辺の交通環境の点検整備

(4)その他の交通安全指導

①学校、老人クラブ等を通じて、老人等に指導を行う

「雪との闘い」発刊



多くの皆さんから予約いただいた「雪との闘い」が完成し、嘱託員さんを通じて配付されています。本をごらんになって、購入を希望される場合は、市総務課企画広報係(☎7-3111番内線236)へお申し込みください。1冊2,500円(送料別)

ふるさとの旬の料理 ⑨

氷頭なます

材料

- 大根 3kg
- 氷砂糖 大1
- 醤油 大2
- 塩 小1
- 味醂 大1
- 酢 大5
- だし汁 C1

調理法

- ①大根は皮をむいて5mmくらいの輪切りにしてからできるだけ細い千切りにしてさつとゆで、たっぷりの水にはなしてから水気をしぼる
- ②氷頭は薄く切って、かぶるくらいの水を入れて、中火で柔らかくなるまで煮る。
- ③①②を合わせ調味料で和える。
- ④氷頭の塩加減により、適当に味をつける。

※こつ

大根をゆでる時、ゆですぎないようにして、水にはなしたら洗うくらいの感じで長くつけないですぐしっかりしぼること。

甘酒漬

材料

- 大根 600g
- 人参 50g
- 昆布 1本
- 身欠鰯 2本
- 甘酒 C2
- 塩

調理法

- ①大根、人参は短冊切りにして一夜3%の塩につける。(大根はキッコウシ漬にしてもよい)
- ②昆布は小さい結び昆布にし、身欠鰯は洗って4~5つに切る。
- ③①②を甘酒につけ、塩で味をととのえる。

※きっこうし漬

大根をまな板を使わないで手に持って庖丁で切り、かく様に乱切りにし、漬物にすると味がしみておいしくなります。(郷土料理研究会 いろり会)

おこなひ

○克雪フェアの会場で「克雪のために一番最初にしなければならぬことは何ですか」と聞いてまわりました。切実な問題なので、それぞれ違った答えが返ってきました。それだけに、克雪の課題は山積しているなどあらためて感じました。もし、「お前は何かと思う」と聞かれ「私、私の心の中に一握の雪も積もらせないことです」と答えるつもりでしたのですが、

傳電のお知らせ

▼十二月二十七日(木) 午前九時～午後一時まで 昭和町一丁目、

▼十二月十八日(金) 午前九時～午後一時まで 千代田町、稲荷町

▼十二月二十四日(木) 午前九時～午後一時まで 高田町三丁目、高田町三丁目

▼十二月二十五日(金) 午前九時～午後一時まで 丸山町の各一部、高田町三丁目

▼十二月二十六日(土) 午前九時～午後一時まで 水野町、神明町、若宮町、宮下町、諏訪町、上川町、田川町

▼十二月二十七日(日) 午前九時～午後一時まで 町一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、七丁目、八丁目、九丁目、十丁目、十一丁目、十二丁目、十三丁目、十四丁目、十五丁目、十六丁目、十七丁目、十八丁目、十九丁目、二十丁目、二十一丁目、二十二丁目、二十三丁目、二十四丁目、二十五丁目、二十六丁目、二十七丁目、二十八丁目、二十九丁目、三十丁目、三十一丁目、三十二丁目、三十三丁目、三十四丁目、三十五丁目、三十六丁目、三十七丁目、三十八丁目、三十九丁目、四十丁目、四十一丁目、四十二丁目、四十三丁目、四十四丁目、四十五丁目、四十六丁目、四十七丁目、四十八丁目、四十九丁目、五十丁目、五十一丁目、五十二丁目、五十三丁目、五十四丁目、五十五丁目、五十六丁目、五十七丁目、五十八丁目、五十九丁目、六十丁目、六十一丁目、六十二丁目、六十三丁目、六十四丁目、六十五丁目、六十六丁目、六十七丁目、六十八丁目、六十九丁目、七十丁目、七十一丁目、七十二丁目、七十三丁目、七十四丁目、七十五丁目、七十六丁目、七十七丁目、七十八丁目、七十九丁目、八十丁目、八十一丁目、八十二丁目、八十三丁目、八十四丁目、八十五丁目、八十六丁目、八十七丁目、八十八丁目、八十九丁目、九十丁目、九十一丁目、九十二丁目、九十三丁目、九十四丁目、九十五丁目、九十六丁目、九十七丁目、九十八丁目、九十九丁目、百丁目

寄付ありがとう

▼上村国雄(土市) 二万円

▼群馬県人会 五万円

▼内藤直義(控木) 千円

▼村山幸夫(為水) 三万円

▼香典返し 五万円

▼十日町市農業協同組合 三万円

▼身障福祉に 二万円

▼匿名(高田町三) 二万五千元

